

平成 26 年 4 月 3 日

宮城県気仙沼土木事務所長 殿

小泉海岸及び津谷川の災害復旧事業を学び合う会
会長 阿部 正一

中島（小泉）海岸及び津谷川の災害復旧事業について（要望）

東日本大震災に係る小泉地域の災害復旧事業の推進につきましては、日頃から格別なご配慮を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、中島海岸及び津谷川の災害復旧事業について以下のように要望します。本事業が、地域住民のみならず県民及び関係各位に十分に理解と納得が得られ、早期復旧が実現されるようにお願いします。

記

- 1 高さ 14.7m、幅 90 m の防潮堤の大きさが実感できる現地での表示の設置
(国道から見える位置に分かるように示す。)
- 2 携帯端末などを使って仮想イメージが現場で見ることのできるソフトを開発し、市民に計画を事前に周知する一助にする。
 - ① 陸前小泉駅跡から見た視点
 - ② 小泉小学校の駐車場からの視点
 - ③ 中島の水田（農業者）からの視点
 - ④ 沖合（サーファー）から見た視点
 - ⑤ 砂浜（観光客）から見上げた視点
 - ⑥ 津谷川（釣り人）から見た視点
- 3 200 億円以上と言われる復旧予算を軽減する設計変更。
- 4 33 ヶ月と示されている工期を短縮する設計変更。
- 5 国道 45 号線を兼用した防潮堤の設計案の提示。
- 6 原形復旧（国道、三陸道が建設された場合）での、L1 津波に対するシミュレーションの開示。
- 7 右岸側の干潟を後世に残すための、市民と専門家、行政が一体となった協議会の設置。

以上について、4 月 18 日（金）までに文書にて回答していただくようお願いいたします。

連絡先

